

# 通行規制の検討（海岸沿いの道路・避難路）

## 1. 業務の検討区間は・・・

### (1) 道路特性

- 1) 沖縄本島の西海岸側を貫く一般国道58号
- 2) 地域住民の生活道路で移動物流ルート
- 3) 沖縄海岸国定公園に沿って延び風光明媚なルート
- 4) 休日や夏期レジャーシーズンの交通量が平日の交通量を上回る

### (2) 技術的な問題

- 1) 現行の雨量規制（連続雨量250mm以上）との結びつきが不明確
- 2) 越波による規制基準が不明確

### (3) 対策施設の整備状況

- 1) 平成18年度には防災カルテによる危険度の高い自然斜面や法面は対策が完了



災害写真



図1 位置図



規制状況写真

## 2. 既存資料

- 1) 平成10年度道路防災総点検結果
- 2) 平成5～14年度間の災害履歴
- 3) 平成10年度以降の対策工施工状況 等

## 3. 技術的特徴

- 1) 斜面崩壊メカニズムの特性を①基岩の地質、②住居の土質、③崩壊位置、④崩壊規模などから解析（表1参照）
- 2) 誘因である降雨との関係を①累積雨量－時間雨量、②タンクモデルおよび③実効雨量（A案、B案、矢野案、提言案）で比較し、適合した実効雨量（提言案、1.5hr－72hr）を判定基準に採用（図3、4、表2参照）
- 3) 湾内、海岸部地形により波浪をシュミレーションして暴風時越波量を計算し、安全運転に必要な視覚が確保される風速・波高を検討（図5、6参照）

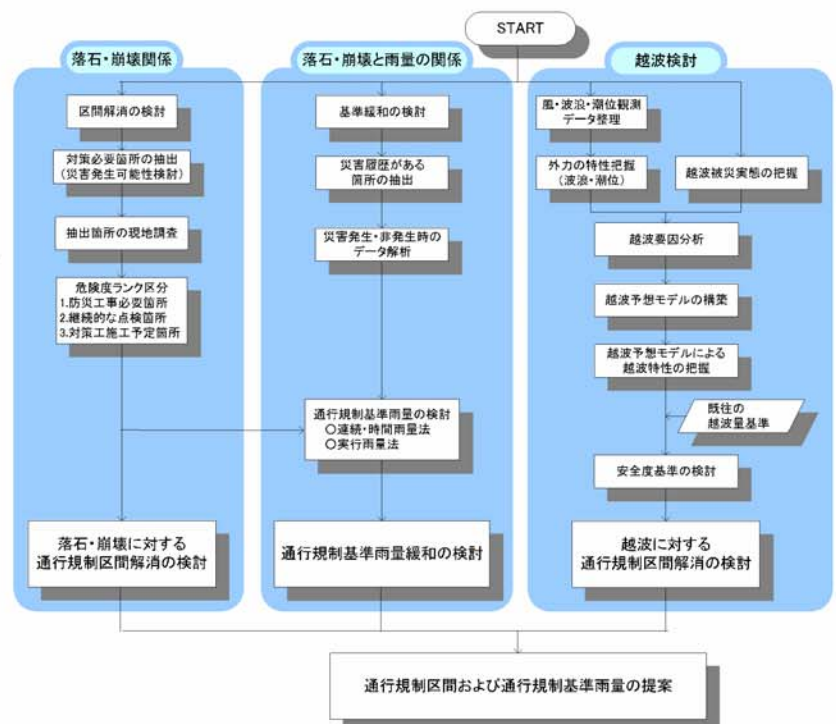


図2 業務フローチャート

